

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 6 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 19 年 11 月 22 日 (2007.11.22)

【公開番号】 特開 2006-106476 (P2006-106476A)
 【公開日】 平成 18 年 4 月 20 日 (2006.4.20)
 【年通号数】 公開・登録公報 2006-016
 【出願番号】 特願 2004-294907 (P2004-294907)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 5/08 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 5/08 3 6 0

G 0 3 G 5/08 1 0 5

【手続補正書】

【提出日】 平成 19 年 10 月 5 日 (2007.10.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基体上に少なくとも非晶質材料で構成された光導電層を有する電子写真感光体の製造方法において、

外周面上に磁性粉体が磁力で付着している磁性ローラーを回転させ、前記磁性粉体による前記電子写真感光体表面の研磨工程を有することを特徴とする、電子写真感光体の製造方法。

【請求項 2】

複数の前記磁性粉体を用いて前記電子写真感光体表面を研磨することを特徴とする、請求項 1 に記載の電子写真感光体の製造方法。

【請求項 3】

研磨テープを前記電子写真感光体表面に圧接させて前記電子写真感光体表面を研磨する工程をさらに有することを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の電子写真感光体の製造方法。

【請求項 4】

前記磁性粉体を用いた研磨工程と前記研磨テープを用いた研磨工程とを同時に行うことを特徴とする、請求項 3 に記載の電子写真感光体の製造方法。

【請求項 5】

前記研磨テープを用いた研磨工程を行った後に、前記磁性粉体を用いた研磨工程を行うことにより、前記電子写真感光体表面を研磨することを特徴とする請求項 3 に記載の電子写真感光体の製造方法。

【請求項 6】

前記研磨テープのみを用いた研磨工程に要する時間が、全研磨工程に要する時間の 40 % 以下であることを特徴とする請求項 3 から 5 のいずれか 1 項に記載の電子写真感光体の製造方法。

【請求項 7】

請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の電子写真感光体の製造方法によって作製された電子写真感光体を用いることを特徴とする電子写真装置。